

平成28年死亡災害の概要

滋賀労働局

平成28年6月30日現在

番号	業種 (規模)	発生月 時間帯	事故の型	被災者の職種 年代	発生状況
1	清掃・と畜業 15-1-1 (6名)	1月 12時頃	墜落、転落	作業員 70代	被災者は、請負先事業場で水路に転落し、溺死により死亡したもの。水路上にせり出した樹木からイルミネーションを取り外すため、水路上の橋(水路との高低差約1.5m、高さ約1mの手すり有)に脚立(高さ3m強)を置いて一人で作業していた。どこから水路へ転落したか不明だが、特段の墜落防止措置を講じた様子はなく、事業場責任者は以前に同じ作業を行った被災者に作業方法を一任していた。
2	食料品製造業 1-1-9 (3名)	3月 16時頃	交通事故	配送作業員 60代	配送業務のために軽ワゴン車を運転していた被災者が、対向車の大型トラックと正面衝突して、胸を強く打ち死亡したもの。被災者が中央線を越えて軽ワゴン車を走行させたことが原因と推定される。
3	金属製品製造業 1-12-9 (2名)	4月 14時頃	飛来、落下	塗装作業員 60代	被災者は、つり上げ荷重2.8トンの天井クレーンで高さ1.6mにつり上げた鉄骨加工物(約700kg)を塗装する作業の補助をしていた。2点吊りで玉掛けしていたワイヤロープのうちの1本が天井クレーンのフックから外れ、鉄骨加工物が被災者に落下し、死亡した。
4	窯業土石製品製造業 1-9-9 (6名)	6月 9時頃	墜落、転落	運転者 30代	被災者は、車両系建設機械(トラクター・ショベル)で、砂利を移動させている時、敷地内のため池(水深約3メートル)にトラクター・ショベルとともに転落し、溺死した。
5	清掃・と畜業 15-1-3 (2名)	6月 16時頃	高温・低温 の物との 接触	ごみ収集作業員 50代	事業場敷地内において、午後1時から午後2時30分まで草刈機で草刈りを行ったあと、1時間休憩を取り、その後、同僚と共に木の切り枝を回収する作業を午後4時まで行った。午後4時30分頃、被災者は嘔吐し、発汗が多かったことから熱中症が疑われ、救急搬送されたが翌々日に死亡した。熱中症を発症したものと推定される。環境省の「熱中症予防情報サイト」によると、作業をしていた地域における作業当日のWBGT値(暑さ指数)は、最大で28.4℃(午後2時)であった。

※本資料は、県内等での同種災害の再発防止に資することを目的に作成しています。
速報性を重視しており、今後、加筆・修正を行う場合があります。